

# 南会津町の湿原を守る会だより

## 駒止湿原「昆虫の役割大」



**南会津「守る会」**  
 南会津町の湿原を守る会は三日、国天然記念物の駒止湿原内で実施した昆虫や動植物の生息調査報告書を町教委に届けた。

### 町教委に報告書提出

### 保全へ生息調査

## 保全へ生息調査

● 駒止湿原駐車場でリーフレットを活用しながら啓発活動を行ってきましたが、入山者から、花の名前が知りたい！という要望が多く聞かれ「花中心のガイドブックが欲しい！作りたい！」という現場の声から製作委員会を立ち上げました。

● 駒止湿原駐車場でリーフレットを活用しながら啓発活動を行ってきましたが、入山者から、花の名前が知りたい！という要望が多く聞かれ「花中心のガイドブックが欲しい！作りたい！」という現場の声から製作委員会を立ち上げました。

福島大共生システム理工学類の塘志顕准教授や学生らと共同で、平成二十一年から行ってきた調査結果。湿原内で観察したクモなどの昆虫類や土壌生物の種類や数などをまとめ、五十嵐教育長(左)に報告書を手渡し室井会長(右側)

室井英彦会長らが町教委事務局を訪れ、五十嵐竹則教育長に報告書を手渡した。室井会長は「湿原の植物が生息するには昆虫が大きな役割を果たすことが分かった。湿原での昆虫の調査は珍しいと思われ、守る会は町内の小中学校や高校などにも報告書をお届けした。」



湿原内にブナを植える参加者

南会津町の湿原を守る会は二日、駒止湿原内にブナを植栽した。田島写真クラブや町教委などから二十三人が参加。手分けして約二百五十本の苗を植えた。植栽したのは、町が五年前に昭和村と共同で植えた場所。同会二年前から草刈りや手入れを行っている。

## 那須 平成の森

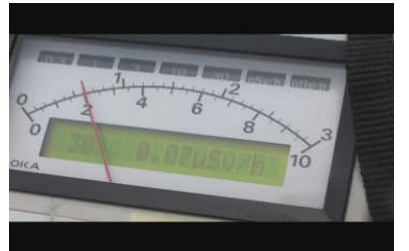
6月4日研修散策 那須平成の森&那須高原八幡ツツジ群落 ■那須平成の森 は平成 20 年まで那須御用邸用地として管理されていた約 560ha の豊かな森。平成の森として H23 年 5 月 22 日、自然とふれあうための場所として開放。豊かな森をガイドさんの案内で散策



## 子ども達と学習



守る会が案内の情報を提供。現地案内は駒止湿原案内の皆さん。町内小中学校教員観察



2011 3月合同庁舎前の環境放射線量 6月6日は放射線測定講習後、駒止にて実測

南会津町の湿原を守る会は二日、同町と昭和村にまたがる駒止湿原の周囲でブナの補植作業を行った。守る会や駒止湿原案内の会、田島写真クラブ、町教委などから23人が参加。大きなブナから苗を採取し、昭和村と共同で約10年前に植えたエリアで育てていない箇所約250本を補植した。参加者からは「毎年、自分たちの植えた苗を見守りたい」「50年後見ることのできたら」などの声が上がった。

### ブナの補植に汗

南会津で湿原を守る会



ブナの補植作業に当たる参加者

守る会では町教委の協力を得て、一昨年から刈った草によるマルチングなどで手入れしていたが、雪や動物の食害などで育たなかった木が多くあるため補植に取り組んだ。



6月ボランティア連絡会が募集したいわきへのボランティア。側溝の泥を片付けた。当会はボラ連入会団体

ガイドブック検討会は合計 11 回

2012年2月5日 ガイドブック完成報告会。内容を解説しながら報告。駒止湿原の花を中心にわかりやすいガイドブックを編集。ほとんどが自分たちの撮影した写真を使用。初めての自費出版。南会津町・昭和村教育委員会へ各 50 冊ずつ寄贈。現在は事務局(阿部電機 62-1248 内)で 300 円で販売している。

室井会長、平成 23 年度旭日双光章受章。旭日章(きよくじつしょう、Orders of the Rising Sun)は日本の勲章の一つ。1875年(明治8年)4月10日に制定され、2003年(平成15年)11月3日に改正された。国家または公共に対し功労がある者の内、功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた者に対して授与される。

# ブナ補植